

アイデア提案用紙

受 理 番 号

24-A034

標 題	人事異動に志願制を導入し、モチベーション・成果の向上を			
想定される効果 (該当項目をチェック、複数選択可)	<input type="checkbox"/> 市民サービスの向上	<input checked="" type="checkbox"/> 事務の合理化	<input type="checkbox"/> 経費の節減	<input type="checkbox"/> 収入の増加
	<input type="checkbox"/> 市のイメージアップ	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の意識変革	<input checked="" type="checkbox"/> 政策・事業の改善	
提案を総括すべき課	行政経営課・人事課			
1 今のやり方(現状・問題点)……具体的に				
<p>現在の人事異動は、職務や部署に関係なく一律で決定されている。 公共施設再配置推進課や新東名周辺整備担当など特定の業務に特化している部署や、広報課のホームページ担当や市民自治振興課の都市交流班(外国語)など、上司の指導や前任者からの引き継ぎだけでなく、個人に求められる知識やスキルの多い部署などには、より適性のある人員配置が求められる。</p>				
2 私の考え方(改善案)……具体的に				
<p>特化した職務を少数人員で行う特命職や、翌年度で新規事業や大きな計画のある部署、新設される部署など実行力が求められる職務において、配置志願者を募集する。志願者に面接などを行い、よりその職務にふさわしい職員を選考することで、その分野において知識またはやる気のある職員を配置することができ、円滑な職務遂行が期待できる。 なお、この制度で配置された職員は、人事評価の倍率を上げ、より職務への取り組みが給与に反映されるようにすることで、モチベーションの増加につなげる。</p>				
3 このように良くなります(改善効果)……数量等を具体的に				
効果額 (算定根拠)	その職務にふさわしい職員が配置されれば、適性のない職員が配置された場合に比べて、1.5～2倍くらい得られる成果が変わってくるのではないかと。			
その他の効果	職員のモチベーションアップにつながる。また、より効果的な組織編成にもつながるのではないかと。			